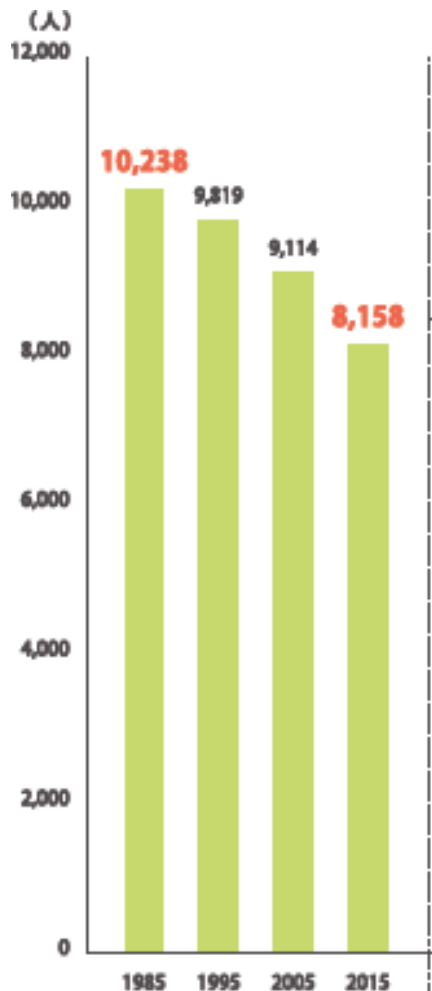




久米島町移住定住相談窓口 「島ぐらしコンシェルジュ」のご紹介

2021年3月5日
島ぐらしコンシェルジュ

発足の経緯



1年で約100人の
人口減少



久米島町総合計画スタートブック

島人みんなで織り上げる未来

第2次久米島町総合計画

島に人を惹き付ける

「旅したい」「移住したい」「帰ってきたい」人のために

- 施策40 久米島らしいライフスタイル・ブランドの確立
- 施策41 情報発信力の強化
- 施策42 交流文化の推進
- 施策43 観光の振興
- 施策44 移住定住促進体制の充実

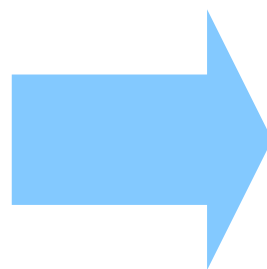


発足の経緯

移住定住促進の為の情報提供・相談窓口の立ち上げ



- ・情報窓口が点在→挫折
- ・勢いで移住→失敗



- ・HPで情報提供
- ・総合窓口で案内
→納得した上で移住

移住定住相談窓口 「島ぐらしコンシェルジュ」



2016年5月発足(5年目)／地域おこし協力隊で運営



【左から順に】
大竹 太平(3年目)
埼玉県出身

矢島 守人(2年目)
兵庫県出身

原 久美子 (1年目)
東京都出身

2020年度現在、4名の島コン卒業生

活動内容① 島外への情報発信



移住定住を促進するための情報収集・発信
(ポータルサイトの運営／移住ガイドブックの製作)



移住相談対応
(移住フェアへの参加／対面・メール: 電話・Skype相談)

移住希望会員登録

久米島移住に関するお知らせをお届けします。

先輩移住者や町民の紹介、仕事の掘り起こしなど、「移住者も地域も幸せになれる移住」をサポートさせていただきます。



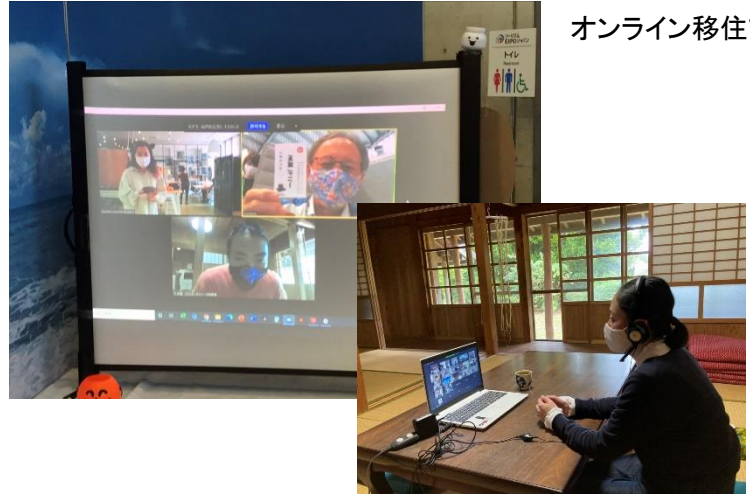
活動内容②コロナ禍での情報発信



オンライン移住体験ツアー



島内求人情報
移住希望者向け発信

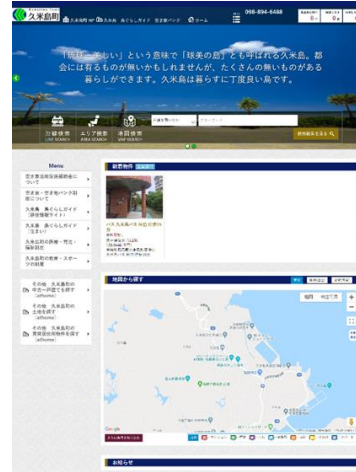


オンライン移住フェア



高校魅力化プロジェクト
授業へ参加

その他の活動(空き家バンク)



・空き家バンクでは、本年度10件の登録があり、7件が決まり1件が商談中の状況です。
(2021/2/25現在)

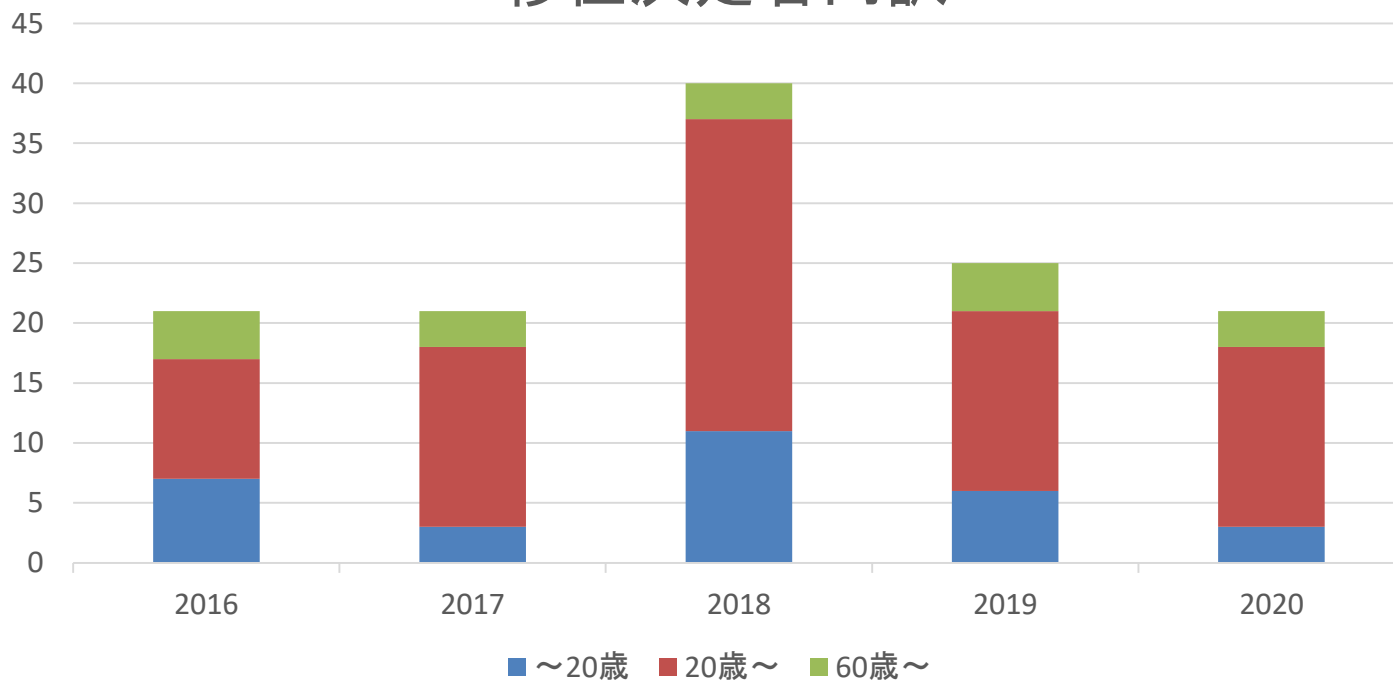
・その他、空き家バンクと併走し、久米島町の空家活用補助金の相談も多数受け付けました。

成果

発足～2021/2/25(約4年) **636件**の移住希望登録



移住決定者内訳



2016年度 21名
2017年度 21名
2018年度 40名

2019年度 25名
2020年度 21名
(2021年2月現在)

大事にしていること

■数年スパンでの移住計画

広める × 深める

【横の広がり】→移住を迫らずファンを作る

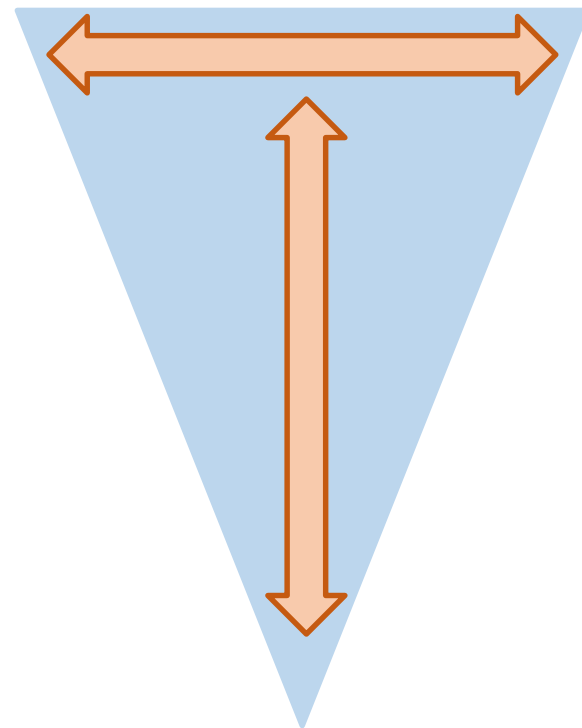
- ・移住・交流イベントへの参加
- ・SNSの登録を募る

【縦の深まり】→段階的な移住推進

- ・Lv1 興味喚起
- ・Lv2 移住希望者会員
- ・Lv3 移住相談(メール、電話、skype、対面etc・・・)
- ・Lv4 下見

■移住・定住推進を目的化しない

- ・人口減少は問題ではない
- ・「良い町を後世に繋ぐこと」が目的



移住者の定住率

移住決定者数→129名

そのうちの転出者数→21名

<主な転出理由>

- ・利便性1件(もっとお店が多いところが良い)
- ・子育て2件(発達障害児への対応が難しい、子の離島留学に伴い移住→離島留学終了に伴い転出)
- ・職場環境1件(仕事内容のミスマッチ)
- ・住まい環境1件(古民家貸し借りのミスマッチ)
- ・怪我/病気治療のため2件(久米島病院では対応が難しい)

定住率= 84%

(2021年2月末現在)

見えてきた課題 ニーズ



■未だ1年に約100人の人口減少に歯止めかからず。

仕事

- 移住の障害や不安
 - 「長期的に安定した雇用」
 - 「専門性・スキルを活かせ、成長できる仕事」
- 労働環境の整備
 - ⇒賃金、休暇、福利厚生
- コロナ禍による、リモートワーク
 - ⇒あまり増えていない
 - ⇒ネット環境、ワーカーの住む場所と働く場所

住まい

- 住宅不足
 - 人口は減ってるが世帯数は増えている
 - ⇒住まい探しの相談年間100件近く
- 希望する住宅がない
 - 老朽化、ペット、浴室、家賃
- 空き家の活用
 - 登記関係の問題で円滑に活用できない物件多数

暮らし

- 転出者が不十分さを感じたこと
 - 「長期的に安定した雇用」／「成長できる仕事」
 - 「充実した医療サービス」／「充実した介護・福祉サービスがあること」
 - 移住者の理想と現実のギャップ(何かをしたくて島に来たが...)